

NEWS RELEASE



問合せ先：アマダマシンツール
TEL：0463-96-3469
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

中型平面研削盤 5機種を市場投入 工作機械商品拡充の第1弾

アマダグループで切削機械と工作機械の販売を担当する㈱アマダマシンツール（社長 小川 慎一）は、小型機に特化してきた平面研削盤分野に新たに中型機を投入、事業拡大をはかる。このため中型の平面研削盤 5機種を開発、これまで手がけていない大型液晶テレビ、航空機などの部品加工をターゲットにした市場開拓に乗り出す。今後、工作機械の商品拡充に向け相次ぎ新商品を投入することにしており、今回の 5機種はその第1弾。10月28日から東京・有明の東京ビッグサイトで開かれる JIMTOF2010（第25回日本国際工作機械見本市）に出展する。

新たな平面研削盤の商品名は「TECHSTER」。標準チャックサイズが 800 mm×400 mmの「TECHSTER84」から 1200 mm×600 mmの「TECHSTER126」までの 5機種。このうち「TECHSTER126」を JIMTOF に出品する。いずれも 2008年10月に平面研削盤で包括的業務提携を結んだナガセインテグレックス（以下ナガセと表記）の技術を踏襲して開発したアマダマシンツールのオリジナルマシン。既存の小型平面研削盤「D1/D3」「A1/A3」と合わせて 9機種となり、平面研削盤シリーズが一気に充実する。

「TECHSTER」の開発コンセプトは環境（Eco）、重研削（Power）、高速（Speed）、安全（Safety）、省スペース（Compact）、高機能（Multi）の 6項目。どのテーマも目標値を達成しているが、中でも環境では駆動源をサーボモーターにかえてオイルレスとしたことでCO₂ 排出量を 80%削減することに成功した。

今回の新商品は、ナガセ製平面研削盤が持つ左右オーバーハングレス、T型一体ベッドなどの機械構造に、アマダマシンツールが培ってきた高馬力主軸、テーブルドレス機能などを融合、安定性と高機能を両立させ、さらに環境対応として油圧レスへの対応と、操作性の向上を図るためタッチパネルを採用したところに最大の特徴がある。

機能面では左右真直度 1.5 μm/1200mm、前後真直度 0.7 μm/600mm という優れた能力をもち、しかも真直精度を長期間にわたって維持することができることもセールスポイントのひとつ。また重量ワーク（1200 kg）にも対応する万能タイプの研削盤。

アマダマシンツールでは、過去に標準チャックサイズ 1000mm×500mm クラスの平

面研削盤を製造販売していたが、ここ 10 年は金型部品業界にターゲットを絞り、研削加工の多工程化、高精度化、微細化ニーズに応えるために多軸タイプの小型研削盤の製造・販売に特化、高い市場占有率を確保してきた。

しかし近年は大型液晶テレビの普及、自動車部品用金型の高精密化、医療機器用部品や航空機用部品市場の拡大など中・大型部品製造で研削加工のニーズが急速に高まっている。こうした市場動向に対応するため、中型機の開発に踏み切った。

アマダグループでは、切削・工作機械事業の拡大を経営の重要課題と位置づけており、今回の新商品発表を契機に新規市場の掘り起こしや流通ルートの構築を一気に推し進める方針。

TECHSTER SERIES 主な仕様

項目	単位	84	105	106	125	126
標準チャックサイズ	mm	800x400	1000x500	1000x600	1200x500	1200x600
移動量 左右×前後×高さ	mm	1200×460 ×750	1200×560× 750	1200×660 ×750	1500×560 ×850	1500×660 ×850
といしサイズ 外径×幅×内径	mm	φ 355×38 × φ 127	105/106 : φ 405×50× φ 127 125/126: φ 510×50× φ 127			
といし軸出力	kW-P	7.5-4			11-6	
総質量	kg	5500	7500	7500	12500	12500

以 上